

関西外国語大学における学位論文の評価基準について

本研究科における学位論文の評価は、ディプロマ・ポリシーを踏まえ以下の基準により総合的に行うものとする。

【修士学位論文の評価基準】

1. 研究テーマと研究方法の妥当性

研究テーマおよび研究方法は、先行研究を的確に踏まえたものである。

2. 先行研究の深い理解と資料収集・分析の適切性

当該のテーマに関する先行研究を深く理解した上で、立論に必要な資料やデータの収集とそれらの解釈・分析が適切に行なわれている。

3. 論旨の明確性と結論の独創性

論旨に論理性と明確性と一貫性があり、独創的な結論が提示されている。

4. 論文構成・表現の的確性

学術論文として体系的に構成されており、正確、かつ適切な表現、表記法により記述されている。

【特定の課題についての研究の評価基準】

1. 研究テーマの実務性

研究テーマの設定や観点は実務的なものである。

2. 資料の収集と解釈・分析の的確性

身近な素材や職務を通じて収集されたデータが的確であり、かつ、それらの解釈・分析が適切に行なわれている。

3. 論旨の明確性・一貫性

論旨に論理性と明確性と一貫性がある。

4. 論文構成・表現の的確性

特定の課題についての研究論文として体系的に構成されており、正確かつ適切な表現、表記法により記述されている。

【博士学位論文の評価基準】

1. 研究テーマと研究方法の妥当性

研究テーマおよび研究方法は、先行研究を的確に踏まえたものである。

2. 先行研究の深い理解と資料収集・分析の適切性

当該のテーマに関する先行研究を深く理解した上で、立論に必要な資料やデータの収集とそれらの解釈・分析が適切に行なわれている。

3. 論旨の明確性と結論の独創性

論旨が明確かつ一貫しており、論理的な思考の展開による独創的な結論が導かれている。

4. 論文構成・表現の的確性

学術論文として体系的に構成されており、正確、かつ適切な表現、表記法により記述されている。

5. 学術的・社会的な貢献

当該研究分野における研究を発展させるに足る知見を有する論文であり、主要部分が学会誌や学術誌等に掲載されているか、あるいは掲載される水準に達している。